

高清水トレイルプレオープン式典

4月27日(土)、上齋原人形峠駐車場内において、高清水トレイルプレオープン式典が開かれ、松浦三朝町長や山崎町長をはじめとして、トレイルウォーク参加者や関係者ら約100名が出席しました。同所で執り行われた山開きの神事では、山崎町長や関係団体らが玉串を奉げました。

神事が終わると、参加者は安全に山歩きを楽しむ講座を聞いた後、高清水トレイルに挑戦し、人形峠から高清水高原山頂までの約1,600mのウォークを楽しみました。



第21回上齋原神社奉納おんな相撲大会

5月1日(水)、令和に改元された最初の日に上齋原神社でおんな相撲大会が開催されました。この大会は上齋原神社春まつりに合わせて開催される女性だけが参加できる相撲大会で、今年で21回目となります。

大型連休の影響で非常に多くの観客が集まった中、町内外より中学生から60代までの46名の選手が出場し、観客からの声援を受けて熱い取組を繰り広げました。取組の前には、仮装をしたり踊りを披露したりと、パフォーマンスを行う力士もいました。

今年の横綱は、16回目の参加となった阿部悦子さん(四股名・悦乃海)で、5回目の横綱となり、永世横綱の称号を授与されました。



「富」昔ながらの田植え再現・お田植祭

5月5日(日)、雲一つない快晴の下、布施神社前の田んぼで、「富」昔ながらの田植え再現が行われました。牛を使い荒起こしや代掻きをし、仕上げの鍬代を終え、鮮やかな衣装に身を包んだ早乙女が、横一列に並び、苗を一株ずつ手で植えていきました。田んぼの周りには多くの見物客やカメラマンで賑わっていました。

「昔ながらの田植え再現」に続き、岡山県重要無形民俗文化財に指定されている、五穀豊穡を祈る神事「お田植祭」が布施神社で行われました。水田に見立てた境内を獅子練りで清めた後、子どもたちが牛に扮して元気に走り回り「荒起こし・代掻き」を表現しました。

「鍬代」で農民があぜを敷く姿をユーモラスに演じた後、「田植え」では、男たちが歌いながら苗に見立てたサカキの葉をまいていました。

殿様が笑えばその年は不作になると言い伝えられている「殿様と福太郎」の掛け合いでは、殿様と福太郎の滑稽なやり取りに会場は大いに盛り上がりました。殿様に大盛りのご飯を食べさせる場面では、福太郎がご飯を何度食べさせようとしても口を結んだままだった殿様が、ついに口を開けたところで福太郎がぱくりと食べてしまい、会場はその日一番の笑いと拍手に包まれました。今年も、殿様は笑うことなく、神事は終了しました。

